

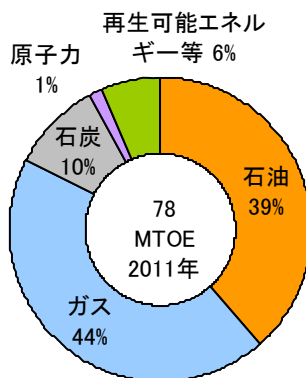
2-11 オランダ

1. サマリー

1. エネルギー事情

- (1) 一次エネルギー供給量 (2011年) : 78 百万 TOE (日本の 0.17 倍)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量 (2011年) : 4.63 TOE (日本の 1.28 倍)
- (3) エネルギー自給率 (2011年) : 83%
- (4) エネルギー起源 CO₂ 排出量 (2010年) : 187 百万 CO₂ 換算 ton (日本の 0.16 倍)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO₂ 排出量 (2010年) : 11.26 CO₂ 換算 ton (日本の 1.26 倍)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2011年末) : 天然ガス (17.2 年)

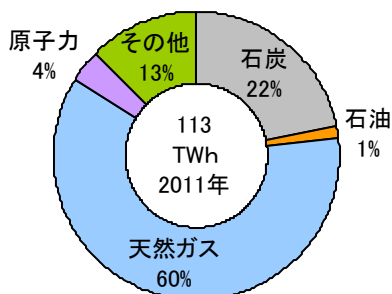
一次エネルギー供給構成 (2011年)



COUNTRY: Netherlands

(出所) IEA, Energy Balance of OECD countries 2012

発電電力量構成 (2011年)



COUNTRY: Netherlands

(出所) IEA, Energy Balance of OECD countries 2012

2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

- 経済・農業・イノベーション省がオランダのエネルギー政策(エネルギー政策白書)の策定、エネルギー産業の改革と自由化の提案・指導を担当している。

(2) 基本政策

- オランダのエネルギー政策の総合的な目標は、安定的、経済的、クリーンなエネルギーの供給を十分に確保することである。2007年12月に、政府はEUによる2020年までの目標に呼応した「クリーン・効率的プログラム (Clean & Efficient Programme)」白書を発表し、気候変動に関する国家戦略の方針を取り上げた。同白書の内容は、①2020年までに温室効果ガス排出量 (GHG) を30% (1990年比) 削減；②再生可能エネルギー比率を2020年までに20%まで増加；③2020年までにエネルギー消費効率を年平均2%改善；④持続可能なエネルギーシステム作りの達成の4項目が主要目標となっている。

(3) 最近の動向

- 2011年11月1日、経済省¹ (経済・農業・イノベーション省 (当時)) は「エネルギー報告書」(Energy Report 2011) を発表し、2050年までに同国が目指す低炭素社会のエネルギー・ベストミックスとその実現に必要な政策等を取り上げた。同書では、よりクリーンなエネルギーの供給、エネルギー部門の経済的展望、信頼できるエネルギー供給のあり方について言及。また、オランダをCCS技術での世界的リーダーに成長させるとともに、欧州のエネルギー・ハブ (特に天然ガス) となることを特に重視している。
- 2012年1月、経済省 (経済・農業・イノベーション省 (当時)) は、オランダ国内2つ目となる原子力発電所建設許可作業を中断すると発表した。その背景には、新規原子力発電所建設に関心を示していたDelta社とRWE社が共に経済状況を理由に建設計画を留保したことが挙げられる。
- 2012年9月12日、オランダ議会 (下院) 選挙が行われ、Rutte首相が率いる中道右派の自由民主党 (VVD) が僅差ながら第1党となった。これにより、EUとの協調路線が支持されたことになる。同年10月29日、自由民主党は第2党となった労働党 (PvdA) は連立政権を組むことで合意し、同年11月5日、第2次Rutte内閣が発足した。

3. 日本とのエネルギー分野における関係

- オランダは、欧州域内に輸出を行うガスを除いては、日本と同じくエネルギー供給を輸入に依存しており、現在、日本とのエネルギー貿易はほとんどない。

¹ 「経済・農業・イノベーション省」は、2012年11月5日に発足した第2次Rutte内閣で「経済省」へと名称が変更された。

2. 主要エネルギー指標

(2011 年)

(1)	一次エネルギー供給量	78 MTOE
(2)	一人当たりの一次エネルギー供給	4.63 TOE/人
(3)	GDP 当たりの一次エネルギー供給	0.11 TOE/千\$
(4)	エネルギー自給率	83 %
(5)	エネルギー起源 CO ₂ 排出量 (2010 年)	187 百万 CO ₂ 換算 Mton
(6)	一人当たりエネルギー起源 CO ₂ 排出量 (2010 年)	11.26 CO ₂ 換算 ton/人
(7)	エネルギー源別構成率	
	石炭	10 %
	石油	39 %
	ガス	44 %
	原子力	1 %
	水力, 再生可能エネルギー等	6 %
(8)	エネルギーの輸入依存度	17 %
(9)	石油の輸入依存度	94 %
(10)	輸入原油の中東依存度 (2010 年)	25.2 %
(11)	原油輸入先 (2010 年)	
	第 1 位	ロシア
	第 2 位	イギリス
	第 3 位	ノルウェー

(出所) (1)～(4)及び(7)～(9)は IEA, Energy Balances of OECD Countries, 2012 Edition.

(5)～(6)は IEA, CO₂ Emissions from Fuel Combustion, 2012.

(10)～(11)は IEA, Oil information, 2012.